



平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社アゴラ・ホスピタリティ・グループ
コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) クォック・ゲイリー・ヤン・クエン

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹

TEL 03-3436-1860

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|-------|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年12月期第1四半期 | 1,679 | 5.6 | 47 | | 162 | | 203 | |
| 29年12月期第1四半期 | 1,778 | 8.9 | 16 | 78.7 | 11 | 70.9 | 18 | 39.6 |

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 143百万円 (%) 29年12月期第1四半期 15百万円 (68.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年12月期第1四半期 | 0.80 | |
| 29年12月期第1四半期 | 0.07 | 0.06 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年12月期第1四半期 | 17,881 | 9,277 | 45.1 |
| 29年12月期 | 18,141 | 9,456 | 45.3 |

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 8,067百万円 29年12月期 8,226百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 30年12月期 | | | | | |
| 30年12月期(予想) | | | | | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年12月期の配当は未定とさせていただきます。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|---|------|-------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,600 | 0.6 | 70 | | 45 | | 10 | | 0.04 |
| 通期 | 7,500 | 1.4 | 290 | | 290 | 309.7 | 200 | 19.6 | 0.76 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-----------|---------------|-----------|---------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年12月期1Q | 281,708,934 株 | 29年12月期 | 281,708,934 株 |
| 期末自己株式数 | 30年12月期1Q | 27,763,761 株 | 29年12月期 | 27,763,760 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年12月期1Q | 253,945,173 株 | 29年12月期1Q | 276,871,807 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部地域における大雪などの天候要因等により影響がみられたものの、緩やかな回復基調が続きました。そのようななか、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の連結業績は、首都圏、関西地域における新規開業ホテルの開業や民泊等との競争が激化しましたが、堅調なインバウンド需要を背景に宿泊事業を推し進めました。しかし、レストラン・大型宴会受注が減少したことに加えて、旧軽井沢ホテルの賃貸契約の終了に伴う運営終了の影響等により、売上高では前年同四半期を下回る1,679百万円

(前年同四半期比5.6%減)となりました。費用面につきましては、ホテル施設における営業費用の抑制に努めましたが、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る売買損失等が発生したことにより、営業損失は47百万円(前年同四半期は営業利益16百万円)となりました。また、営業外費用として為替差損を85百万円計上した他、当社の支払利息14百万円等を計上したこと等により、経常損失は162百万円(前年同四半期は経常利益11百万円)となりました。また、旧軽井沢ホテルの事業撤退に伴う特別損失として7百万円を計上しました。その結果、四半期純損失185百万円(前年同四半期は四半期純利益35百万円)となりましたが、非支配株主に帰属する四半期純利益18百万円を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失は203百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業におきましては、民泊等の宿泊需要の多様化の影響やホテル・アゴーラリージェンシー堺におけるレストラン・大型宴会受注が減少したこと等により、売上高は前年同四半期を下回る1,521百万円(前年同四半期比6.2%減)と減収となり、営業費用の抑制に務めましたが、営業利益は6百万円(前年同四半期比86.3%減)

② その他投資事業

その他投資事業部門におきましては、霊園事業において現地通貨に対し円が弱くなったことに伴い売上高では前年同四半期を上回る158百万円(前年同四半期比0.4%増)となりましたが、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る評価損が発生し営業利益は7百万円(前年同四半期比67.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、17,881百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、3,222百万円となりました。これは、現金及び預金が112百万円、売掛金が101百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し14,659百万円となりました。これは、建物及び構築物が56百万円、のれんが36百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、8,604百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.6%減少し、2,412百万円となりました。これは、未払金が68百万円、買掛金が101百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、6,191百万円となりました。これは、長期借入金が175百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、9,277百万円となりました。これは、利益剰余金が203百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、平成30年2月9日に公表いたしました平成30年12月期の業績予想に対し、概ね想定通りに推移しており、現時点で業績予想の変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,372,385 | 1,260,233 |
| 売掛金 | 420,438 | 319,277 |
| 有価証券 | 180,373 | 249,523 |
| 原材料及び貯蔵品 | 77,488 | 57,440 |
| 開発事業等支出金 | 1,026,978 | 1,041,031 |
| その他 | 342,209 | 315,622 |
| 貸倒引当金 | △18,172 | △20,957 |
| 流動資産合計 | 3,401,701 | 3,222,169 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,513,696 | 3,457,189 |
| 車両運搬具(純額) | 17,224 | 11,896 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 102,713 | 96,932 |
| 土地 | 6,072,214 | 6,072,214 |
| 住宅用賃貸不動産(純額) | 2,760,460 | 2,754,853 |
| 建設仮勘定 | 3,350 | 10,725 |
| 有形固定資産合計 | 12,469,660 | 12,403,812 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 2,801 | 2,675 |
| ソフトウェア | 10,145 | 9,232 |
| のれん | 1,706,594 | 1,670,130 |
| 無形固定資産合計 | 1,719,541 | 1,682,038 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 37,240 | 36,827 |
| 長期貸付金 | 423,523 | 383,085 |
| その他 | 90,235 | 153,995 |
| 投資その他の資産合計 | 551,000 | 573,909 |
| 固定資産合計 | 14,740,201 | 14,659,760 |
| 資産合計 | 18,141,903 | 17,881,929 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 311,890 | 209,970 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 782,105 | 772,112 |
| 未払金 | 928,610 | 859,911 |
| 未払費用 | 27,017 | 8,408 |
| 未払法人税等 | 81,200 | 13,059 |
| 賞与引当金 | 50,927 | 38,560 |
| ポイント引当金 | 427 | 362 |
| 資産除去債務 | 26,000 | 26,000 |
| その他 | 461,322 | 484,279 |
| 流動負債合計 | 2,669,500 | 2,412,665 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,439,788 | 5,615,754 |
| 長期預り保証金 | 530,431 | 530,735 |
| 繰延税金負債 | 267 | 747 |
| その他 | 45,321 | 44,397 |
| 固定負債合計 | 6,015,808 | 6,191,635 |
| 負債合計 | 8,685,309 | 8,604,300 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,534,406 | 8,534,406 |
| 資本剰余金 | 2,642,464 | 2,646,000 |
| 利益剰余金 | △1,857,181 | △2,061,102 |
| 自己株式 | △1,033,512 | △1,033,512 |
| 株主資本合計 | 8,286,178 | 8,085,793 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △60,033 | △18,389 |
| その他の包括利益累計額合計 | △60,033 | △18,389 |
| 非支配株主持分 | 1,230,448 | 1,210,225 |
| 純資産合計 | 9,456,593 | 9,277,628 |
| 負債純資産合計 | 18,141,903 | 17,881,929 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 1,778,895 | 1,679,767 |
| 売上原価 | 1,229,625 | 1,205,250 |
| 売上総利益 | 549,270 | 474,517 |
| 販売費及び一般管理費 | 533,223 | 521,570 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 16,047 | △47,052 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 28 | 9 |
| 為替差益 | 18,216 | - |
| 受取家賃 | 963 | 1,681 |
| プリペイドカード失効益 | 881 | 808 |
| その他 | 6,597 | 1,092 |
| 営業外収益合計 | 26,687 | 3,592 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,000 | 14,008 |
| 為替差損 | - | 85,574 |
| 資金調達費用 | - | 6,884 |
| 持分法による投資損失 | 13,388 | 9,640 |
| 開業費償却 | 3,036 | - |
| その他 | 4,594 | 2,564 |
| 営業外費用合計 | 31,019 | 118,672 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 11,715 | △162,132 |
| 特別利益 | | |
| 賃貸借契約解約益 | 51,936 | - |
| 特別利益合計 | 51,936 | - |
| 特別損失 | | |
| 事業撤退損 | - | 7,253 |
| 特別損失合計 | - | 7,253 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△) | 63,651 | △169,385 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 28,664 | 15,899 |
| 法人税等調整額 | △805 | - |
| 法人税等合計 | 27,859 | 15,899 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 35,792 | △185,285 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 17,765 | 18,635 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△) | 18,026 | △203,920 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 35,792 | △185,285 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △20,787 | 41,643 |
| その他の包括利益合計 | △20,787 | 41,643 |
| 四半期包括利益 | 15,004 | △143,641 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △2,760 | △162,277 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 17,765 | 18,635 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 宿泊事業 | その他投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,621,135 | 157,760 | 1,778,895 | — | 1,778,895 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,621,135 | 157,760 | 1,778,895 | — | 1,778,895 |
| セグメント利益 | 49,002 | 21,817 | 70,820 | △54,772 | 16,047 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△54,772千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却の方法の変更

有形固定資産の減価償却の方法については、従来、主として定額法(建物以外の有形固定資産については一部の連結子会社において定率法)によっておりましたが、経営体制の刷新を契機に、当社の主力事業であるホテルの長期的な保有を前提とした宿泊事業運営に向け、事業管理体制の構築の一環として、当社が匿名組合出資を行うホテル資産の減価償却方法を検討した結果、投資の効果は安定的に発現すると見込まれるため、定額法がより実態に即した合理的な費用配分であると判断し、当第1四半期連結会計期間より、連結子会社のうち、オリオン合同会社、ヴァルゴ合同会社、ジェミニ合同会社の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の宿泊事業セグメントの損益に与える影響は軽微であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 宿泊事業 | その他投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,521,322 | 158,444 | 1,679,767 | - | 1,679,767 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 1,521,322 | 158,444 | 1,679,767 | - | 1,679,767 |
| セグメント利益 | 6,725 | 7,176 | 13,901 | △60,954 | △47,052 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△60,954千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。